



【第25号】

令和2年 3月13日

福島県小名浜港湾建設事務所

おなはまみなと通信

【発行元】

福島県小名浜港湾建設事務所
企画調査課

☎ 0246-53-7126

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41400a/onahama-minato.html>

小名浜港東港地区に初めて貨物船が入港しました。

3月4日（水）に小名浜港東港地区第一岸壁に初めての貨物船が入港しました。

今回入港した船は日本郵船株式会社の「SUNSHINE PRIDE」という全長229m、載貨重量トン数約81,378トンの船（写真右）で、オーストラリアから運ばれてきた石炭を積んでいます。

3月6日（金）には荷下ろしを開始されました。船に積み込まれている石炭は、アンローダにより船から荷揚げされ、ベルトコンベアを通してトラックへ荷積みし、東港地区の野積み場へと移されました。

SUNSHINE PRIDE 接岸の様子（陸から）



SUNSHINE PRIDE（空から）



（写真↑）ベルトコンベアを通して建屋に運ばれた石炭はホッパからトラックに積み込まれます（写真↓）右のアンローダが船から石炭を荷揚げしています

野積み状況



荷役開始時



東港地区の施設や整備の概要についてはおなはまみなと通信第24号にて特集しておりますのでぜひ、ご覧ください。

小名浜港湾建設事務所では、いわき市内のみなとの整備、管理及び運営を行っています。「おなはまみなと通信」では、小名浜港をはじめとしたいわき市内の港湾・漁港の復旧・復興状況や話題などみなとに関する情報を発信します。

※おなはまみなと通信は、当事務所のホームページからもご覧いただけます QRコードはこちらです



令和2年度の小名浜マリンブリッジの一般開放について

小名浜マリンブリッジについて、昨年まで、4月から11月まで毎週日曜日に一般開放を行っていましたが、令和2年度から東港の暫定供用に伴う運搬車両の増加などから、安全面を考慮し、以下4回歩道のみ一般開放を行います。

【開放日】

・5月 5日(火)・7月26日(日)・8月16日(日)・9月20日(日)

※安全上の問題から気象条件等によって中止する場合があります。詳しくはHPをご覧ください。

新型コロナウイルス感染症に気をつけましょう。

ウイルス性の風邪の一種です。発熱や喉の痛み、咳が長引くこと(1週間前後)が多く、強いだるさ(倦怠感)を訴える方が多いことが特徴です。重症化すると肺炎となり、死亡例も確認されています。

感染から発症までの潜伏期間は1日から12.5日(多くは5日から6日)といわれています。

新型コロナウイルスは飛沫感染(感染者のくしゃみ、咳、つば)と接触感染(感染者がくしゃみや咳を手で押さえた後の接触)によりうつるといわれています。

日常生活で気をつけること

まずは手洗いが大切です。外出先からの帰宅時や調理の前後、食事前などにこまめに石けんやアルコール消毒で手を洗いましょう。

咳などの症状がある方は、マスクの着用等の咳エチケットを行ってください。咳やくしゃみを手で押さえると、その手で触った物にウイルスが付着し、ドアノブなどを介して他の方にうつす恐れがあります。

持病がある方、ご高齢の方はできるだけ人混みの多い場所を避けるなど、注意しましょう。

発熱等の風邪の症状が見られるときは、学校や会社を休んでください。発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録してください。

日常生活で気をつけること

次の症状がある方は、まずは「帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

○風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く(解熱剤を飲み続けなければならないときを含みます)

○強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある

*高齢者や基礎疾患のある方は、上の状態が2日以上続く場合。



その他の詳細については、福島県のホームページに記載されています。手洗い等をこまめに行い予防を心がけましょう。

編集後記

みなさんこんにちは。小名浜港湾建設事務所のいつきです。今年も年が明けてから既に3ヶ月が経過し、気づけば年度末ですね。とても早いです。次のおなはまみなと通信の発行は年度が変わった5月になります。来年度も奇数月に発行しますよ！みなさん、お楽しみに！

いつき君

